



福島中だより

8月号

H28.8.1発行
文責：校長

夏休みに入って十日程経ちました。生徒の皆さんは充実した毎日を送れているのでしょうか？きまりを守り、宿題は順調に進んでいますか？さて、夏休みに入るとすぐに中体連の大会や吹奏楽コンクールが行われ、福島中の生徒たちのがんばる姿を見ることができ、学校へも嬉しい報告が次々に入ってきました。主なものを紹介します。

まず、県吹奏楽コンクールでは、本校の吹奏楽部が念願の金賞を受賞しました。どの部より長時間練習してきた吹奏楽部の皆さん、おめでとうございます。また、県中学校総合体育大会では、男子弓道部が準優勝、女子弓道部が3位に入賞し、九州大会に出場することになりました。個人では、剣道部の河野隼佑君が3位となりこちらも九州大会へ出場します。さらに高いレベルの中での活躍を期待します。その他、女子テニス部や女子バレー部、剣道男子団体はベスト8まで進出し、福島中の存在感を県下に示してくれました。柔道、空手、水泳、陸上に個人で参加した各選手も、入賞こそありませんでしたが、精一杯頑張る姿を見せてくれたと思います。選手の皆さん、お疲れ様でした。

●●○ PTAについて…、親について…、先生について… ○●●

8月は学校がお休みのためあまりネタがありません。そこで、みやざき中央新聞の水谷もりひと編集長が、PTAについて書いた文章があったので、ご紹介します。子どもの成長のためには、親や教師など、周りの大人の成長が不可欠であると、水谷さんも感じられているようです。

偉くないのに偉そうなことを言う

「長」が付く肩書をいただくということは、どんな組織であれ、その組織の責任ある地位に就くことであり、人の上に立つことだ。ビジネスの世界であれば、それを「出世」と言い、社会的な信用がアップし、それに伴い給与も上がるので、喜ばしい。

とは言え、世の中には、誰もなりたがらない「長」がある。PTA会長はその代表だろう。まずボランティアである。しかも、昼間、仕事を抜け出して学校関係のいろんな行事や会合に出席しなければならない。P（保護者）とT（先生）の組織のトップなのに、学校運営に口を出す権限はない。学校からいろんな行事を請け負って、保護者に役割を割り当てる、下請け業者のオヤジのようにも思える。

それでも、学校の数だけPTA会長はいる。誰もなりたがらない、その「長」の人たちと数多く接してきた。彼らに共通していたのは、みんな「いい人」だった。

実を言うと、僕も5年間、PTA会長だった。ある日、我が家に教頭先生と教務主任の先生がやってきて頭を下げたのだから、断れなかった。引き受けた。仕方なく。

PTA、そこは別世界だった。役員さんが使う言葉の意味が分からない。それまで言葉を交わしたことのなかった教頭先生や校長先生が、会うたびに頭を下げてくれるので、偉くなったと錯覚してしまっそうだった。

しかし、楽しさを実感するまでそれほど時間はかからなかった。というのは、最初に「楽しもう」と決心して臨んだのだ。それまで学んできた心理学を実践してみようとも思った。すなわち、価値観の異なる人たちと「いい人間関係」を築くコツを、理論的には知っていたが、PTAはそれを実践する絶好の場だった。

入学式と卒業式は、直接今どきの小・中学生に僕の個人的なメッセージを語れる貴重な場だった。何よりその話を自分の子どもも聴いている。何百人もいる保護者の中で、それができる特権を与えられているのはPTA会長だけだ。この役目は、どれだけ札束を積んでも手に入れることにはできない。

ビルの1階から見える風景と、屋上から見える風景が違うように、組織のトップにいるといろんな風景が見える。

学校は子どもを教育するところだが、今一番教育が必要なのは親だと感じた。かつて、イギリス

のブレアさんが首相に就任したとき、「今、イギリスがやらなくてはいけないことは三つある。第一に教育改革。第二に教育改革。第三に教育改革だ。」と演説したが、今日本の学校に必要なものが見えてきた。

「第一に親の教育」、これに尽きる、と。親が何とかなれば、子どもは何とかなる。

作家の中谷彰宏さん曰く。「親が成長せずに子どもを育てようとしても、子どもはどんどん親の言うことを聞かなくなります。子どもに勉強してほしいと思うなら、親が勉強している姿を見せたい。子どもにできることを、大人になって再チャレンジしているところを子どもに見せるとか…」

それから、学校には、幸せそうな先生と幸せそうに見えない先生がいることも知った。幸せそうな先生は、教師になってからも人間として成長した人だと思う。何といっても教師は人間力が勝負だ。授業も生徒指導も子どもの心を掴むのは教師の人間力だ。

身銭を切って学ぶ人は、成長する。教育委員会が主催する無料の研修しか参加しない人は、残念ながら人間としては成長しないだろう。自分で考えて探していないから。身銭を切る人は、自分で学ぶべきテーマを持ち、自分で探して学びに行く。だから、だんだん魅力的な人になる。自ら学ぼうとしている大人からしか、子どもは学ばないのではないかと思う。

だんだん説教臭くなってきた。

でも、PTA会長は、先生と親に対して偉そうなことを言ってもいいのだ。だから、もし、「PTA会長になってください」と頼まれたら、積極的に引き受けてほしい。そして、「PTAを楽しもう」と決意して臨んではどうだろうか。

（水谷もりひと著 「今伝えたい！子どもの心を揺るがす“すごい”人たち」による）

8月の主な行事

- 1日（月）登校日（1・2年）
- 1～3日（月～水）サマースクール（3年）
- 2日（火）稲刈り体験（2年）※準備8/3
- 11日（木）●山の日
- 22～24日（月～水）授業日（午前中授業）
- 29日（月）始業の日

※ 8/21(日)に予定されていたPTA奉仕作業は、グラウンド改修工事のため、延期（2月予定）となりました。

